

# 平成28年度 事業報告書

[学校法人 三室戸学園]

## I. 法人の概要

### 1. 設置する学校、学部、学科

- 東邦音楽大学大学院 [音楽研究科]
- 東邦音楽大学 [音楽学部音楽学科]
- 東邦音楽短期大学 [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦高等学校 (全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校 (全日制の課程) [音楽科]
- 東邦音楽大学附属東邦中学校
- 東邦音楽学校

### 2. 学生・生徒数

(平成28年5月1日現在)

区 分	入 学 定 員	学 生 ・ 生 徒 数
東邦音楽大学大学院	15人	35人
東邦音楽大学	100	246
東邦音楽短期大学	50	115
附属東邦高等学校	80	68
附属東邦第二高等学校	50	78
附属東邦中学校	50	43
東邦音楽学校	—	274

\*東邦音楽学校の学生・生徒数は「教養科」の生徒数である。

### 3. 役員・教職員

#### (1) 役員

- 理事長 三室戸東光  
理事 辻 敏明  
塩島 貞夫 (平成28年7月31日退任)  
福岡 省三 (平成29年3月31日退任)  
西 修一郎  
粕谷 宏美 (平成28年8月1日就任)  
監事 井上明俊・和田正夫

#### (2) 教員

##### ① 専任教員 72名

[大学院・大学・短期大学] 55名

教授 27名 (うち特任教授17名)、 准教授 20名 (うち特任准教授10名)

講師 8名 (うち特任講師1名)

[附属学校] 17名 校長2名、教頭2名、教諭13名

##### ② 非常勤講師 140名

#### (3) 職員 46名

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 概要

平成28年度は、本学園にとってターニングポイントになった年度であった。

すなわち、平成28年度までの5か年計画であった第二期中期計画を検証、見直しを行い1年前倒しの上、平成28年度から新たに第三期中期計画並びに、その初年度として平成28年度事業計画を策定した。理事長の強いリーダーシップのもと教職員が一丸となって、計画の実現に邁進してきた。

第三期中期計画及び平成28年度事業計画の主要目的は、教育改革を更に推し進めることと学生生徒の確保増を図ることによる経営の安定化である。

我が国の高等教育機関とりわけ私立大学・短期大学を取り巻く環境は年々厳しさを増し、特に2018年（平成30年）以降は18才人口のさらなる減少が確実であり、大学間のより厳しい学生獲得競争の激化が見込まれている。

また、音楽を志し、音楽系大学に進学する者が全体的に漸減傾向にある。

このような厳しい本学園は、創設以来「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格の形成を目途とする」ことを建学の精神・理念として掲げ、①一貫教育の実践 ②少人数制教育 ③国際化の推進 ④地域社会との交流という4つの教育方針の下に、小規模大学の特色を活かし、学生・生徒それぞれの思いとニーズをしっかりと受け止め入口から出口まで面倒見の良い学園として、個に応じた教育・指導等を実践してきた。

平成28年度事業計画の達成状況を俯瞰するに、教育改革及び入試改革については、順調に計画を達成した。

短期大学について、法令に定められている認証評価を受審（一般財団法人短期大学基準協会）し、「適格」との評価を得た。

大学及び短期大学については、平成28年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：大学及び短期大学、タイプ2：大学）に採択された。

本事業の採択は、平成27年度から2年連続であり、本学園が取り組んできた教育改革について、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団から高い評価を得たことによるものである。

また、私立大学等教育研究活性化設備整備事業に文京キャンパス図書館改修が採択され、アクティブラーニングの設備を備えた図書館として、リニューアルした。

教育の充実で言えば、大学院及び大学について、東京未来大学通信教育課程との連携により、小学校教員免許及び幼稚園教員免許取得を目指す制度を作ったことが特筆される。

一方、附属学校においては、附属高等学校2年の近藤さくらさんが、第70回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門高校の部において、第1位に輝いた。

なお、学生生徒の在籍数については、前述のとおりとなった。

## 2. 事業計画の推進状況

### ○平成28年度に実施した主な新規事業

#### (1) 教育改革の推進

平成28年度については、これまでの様々な教育改革に加えて次の施策を新たに実施した。

①世界で活躍する演奏家や質の高い教員の育成するため、大学に「Konzertfach（演奏専攻）」及び「教職実践専攻」を新設することとした。（平成29年度改組）

また、短期大学は、「ピアノレスナーコース」を「ピアノ指導者コース」に名称変更し、「電子オルガン専攻」を「器楽専攻（電子オルガンコース）」に組み入れることとした。（平成29年度改組）

②大学院、大学、短期大学の3ポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）を改定し、これまで以上に教育理念、教育方針を明確にした。

③ベストティーチャー賞に山崎明美大学准教授、國谷尊之短期大学教授を選出し、8月31日に授賞式を行った。

④後期オリエンテーション（8月31日）に合わせて筑波大学伊藤眞副学長を講師に招きFD・SD研修を実施した。

なお、SD研修については、4月、6月、7月、12月にも実施した。

#### (2) 入試改革について

①平成29年度入試（平成29年4月入学）において、新たに音楽系特別指定校推薦入試を実施し、本試験により5名が受験し、全員が合格し入学した。

#### (3) 関係機関との連携協定について

平成28年度において、本学園の教育の質の向上に資すると共に社会への貢献に寄与することから、次の機関と連携協定を締結した。

①文京区と大学・短期大学との相互協力協定を締結した。

（文京区と大学は、従前から相互協力協定を締結している）

②ふじみ野市と大学との相互協力協定の改定締結を行った。

③東京未来大学と本学園は、小学校教員免許および幼稚園教員免許の取得に関し協定を提携した。平成28年度10月より、教職特設コースの学生4名が履修している。

#### (4) 学生支援について

下宿生のアパート代の一部補助について、これまでは、入学生（1年間）のみを対象にしていたが、全学年に補助の対象を拡大した。

#### (5) 国際交流について

ウィーンフィルのヴァイオリン奏者であるルネ・シュタール氏を招き、学生生徒を対象に公開レッスンをを行った。

このうち、付属高校2年の近藤さくらさんは、平成28年12月に開催された、第70回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門高校の部において、栄えある第1位に輝いた。

(6) 管理・事務組織の充実について

入試広報部門を強化・充実するため、7月に入試広報センターと企画室統合し、入試広報企画センターを発足させた。

(7) 図書館の整備について

文京キャンパス図書館について、文部科学省から私立大学等教育研究活性化設備整備事業に採択され、アクティブラーニングにも対応できる改修を行った。

(8) 本学園の耐震化率について

本学園は、学生・生徒の安全を最優先に施設整備を行っており、平成28年度末現在で、耐震化率は76.7%である。今後も耐震化率の向上に努める。

(9) その他

平成28年8月18日(木)、19日(金)、8月22日(月)から8月24日(水)の5日間の日程で平成28年度「教員免許状更新講習」を開催し、以下の5つの講習を行い、約80名の現職教員が受講した。

- ・必修領域「教育の最新事情」
- ・選択必修領域「組織的対応の必要性和危機管理上の課題」
- ・選択領域「道徳教育と音楽教育実践を学ぶ」
- ・選択領域「実践吹奏楽指導法」
- ・選択領域「実践合唱指導法」

### 3. 事業計画の推進状況

#### ○平成28年度の事業計画の重点項目についての取組み状況 (新規事項を中心に記載)

項目	実施内容
I - (1)	≪重点項目≫ ・建学の精神を踏まえた、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー（3ポリシー）の見直しを行い、3ポリシーに合致した教育を推進する。 ・教育理念である国際化を推進することにより、国際的な視野を持った音楽人・社会人を育成するとともに、ウィーンでの海外研修や海外演奏会を中心に国際交流や社会連携を積極的に推進する。また、ウィーンから現地教員を招請する。
	<b>【平成28年度に実施した事項】</b> ・大学院・大学及び短期大学について、それぞれディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー（3ポリシー）の改定を行った。 ・ウィーンフィルから、ヴァイオリン奏者ルネ・シュタール氏を招き、公開・クローズドレッスンをを行った。
I - (2)	≪重点項目≫ ・GPA等を活用して評価基準を明確化・厳格化し、成績評価制度を整備充実する。
	<b>【平成28年度に実施した事項】</b> ・奨学金支援の対象学生の選考にあたって、GPA等を活用した。
I - (3)	≪重点項目≫ ・各教員がアカデミックスケールを共有し、適切な学生評価を実施する。
	<b>【平成28年度に実施した事項】</b> ・大学・短大について、平成29年度の専攻再編に沿って、アカデミックスケールを見直した。

I - (4)	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生相談員、クラス担任及びレッスン担当教員等が連携し、学生に対する修学、学生生活等に対する支援活動を行うための方策を推進する。</li> <li>・障害のある学生生徒への支援を必要に応じて適切に行う。</li> <li>・各授業科目等に関する質問、相談に応じるためオフィスアワーを活用する。</li> <li>・就学及び修学を支援するとともに優秀な学生生徒を確保するため、特待生制度や奨学金の給付制度並びに地方出身者のためのアパート借り上げのための補助制度等についても、ニーズに対応させながら卒業年次まで継続して実施する。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害学生生徒支援センター（通称：スマイルデスク）を設置した。</li> <li>・地方出身者のアパート借り上げ補助を全学生（平成27年度までは、入学生のみ）に拡大した。</li> </ul>
I - (5)	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の教育の特色であるウィーン研修及び海外演奏旅行により、海外での演奏活動の実践や海外の演奏家・演奏団体等との交流を深め、訪問地や演奏地の市民等との間における国際交流を積極的に推進する。また、これらの活動や交流を通して国際感覚やマナー等を身に付けさせるようにする。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、延べ91名がウィーンアカデミーにおいて、実技研修を受講した。また、海外での卒業演奏もハンガリーにおいて行った。</li> </ul>
I - (6)	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念の一つである地域社会との交流を推進する観点から、地域の自治体や企業、各機関との連携の下、積極的に人材、施設（グラントザール等）等の有効活用を図る。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東邦音楽短期大学が文京区と一般交流協定を締結した。</li> <li>・平成29年3月に川越市幹部職員と本学幹部教職員が今後の地域連携について、意見交換を行った。</li> </ul>
II - (1)	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生等のニーズの把握及び分析等を行い、学生生徒の増を図る。</li> <li>・広報入試センター、企画室を中心に、学生生徒の確保のための対応策を講じる。</li> <li>・教員が学生生徒獲得について強い意識を持ち、高校訪問、オープンキャンパス、体験レッスン等に望むための方策を進める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報入試センターと企画室を改組し、「入試広報企画センター」を設置した。</li> </ul>

<p>Ⅲ－（１）</p>	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点校を中心に高校訪問を効率的・効果的に行い、学生の確保に努める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽系特別推薦指定校推薦入試」を実施した。（平成29年4月入学者から実施し、5名が入学した。）</li> </ul>
<p>Ⅲ－（２）</p>	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在実施している、AO入試、推薦入試、一般入試及び社会人入試の実施方法を適宜検証し、必要な改善を図る。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度入試について、その回数が多いことが、反って受験生の不安を煽り、また、教職員の業務付加も増大したことから、平成30年度入試について、試験回数を見直した。（AO入試10回→7回）</li> </ul>
<p>Ⅳ－（１）</p>	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園創立80周年（平成30年）を迎え、更なる発展充実を図っていくため、寄付金募集の強化並びにサポーター制度の導入を行い、その寄付金の増額に努める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省へ特定公益増進法人としての継続申請を行った。</li> </ul>
<p>Ⅳ－（２）</p>	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費は教職員の人数が大きなウェイトを占めるので、専任教員の定数と実数、非常勤教員数の見直しを図り、その抑制に努める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職教職員の後任補充を最小限に留め、人件費の抑制を図った。</li> <li>・退職した非常勤講師の後任補充を最小限に留め、専任教員の担当時間数を増やし、教育の質の維持を図った。</li> </ul>
<p>Ⅴ－（１）</p>	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の役職員の意識改革を行うとともに、学園本部、経理本部及び事務本部の意思を統一し、連携を深め、学園全体としての確かつ円滑な運営を行う。</li> <li>そのために、学園の全教職員が私立学校全体を取り巻く状況や本学園の現況等について、常に意識を持って業務を行うように啓発等を進める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度会（専任教職員が出席）において私立学校全体を取り巻く状況や本学園の現況等について、理事長から説明を行い、教職員の意識の向上を図った。</li> </ul>

V－（２）	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員等としての資質、知識、技能等の向上を図り、SD（スタッフディベロップメント）としての機能の充実を図るため、学外の研修会や会議等に積極的に参加させるとともに、学内においてもSD研修を実施する。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅及び若手事務職員を対象にしたSD研修を実施した。 （SD研修は、計5回実施）</li> <li>・日本私立学校振興・共済事業団が主催する「私学スタッフセミナー」に職員が参加した。</li> <li>・事務職員が、文部科学省が行っている「私立大学等の振興に関する検討会議」を傍聴した。（交代で傍聴した）</li> </ul>
VI－（１）	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害者や高齢者への配慮に努める。</li> </ul> <p>【平成28年度に実施した事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害学生生徒支援センター（通称：スマイルデスク）を設置した。</li> </ul>
VII－（１）	<p>《重点項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検評価及び外部評価の結果を運営の改善に活用する。</li> </ul>



平成28年度 演奏会等実施一覧

日程		演奏会名	会場
7月23日(土)	土	第193回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ソロの部〕	東邦音楽大学 グランツザール
10月1日(土)	土	東邦音楽大学・東邦音楽短期大学 第11回 トライアルコンサート ～オーケストラとの共演～	東邦音楽大学 グランツザール
11月23日(水・祝)	水	第194回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 オーケストラの部〕	めぐろパーシモンホ ール 大ホール
11月26日(土)	土	第195回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 合唱の部〕	東邦音楽大学 グランツザール
12月14日(水)	水	第196回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 ソロの部〕	東邦音楽大学 グランツザール
12月17日(土)	土	第197回 定期研究発表演奏会 〔大学・短大 ウインドオーケストラ の部〕	ウェスタ川越 大ホール
平成29年 1月18日(水)	水	第198回 定期研究発表演奏会 〔中・高・二高 合奏、合唱の部〕	東邦音楽大学 グランツザール

平成 28 年度 大学・短期大学 オープンキャンパス等 実施一覧

日程		イベント	会場
5月14日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法/メディアデザイン	川越キャンパス
5月14日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
5月21日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
5月28日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
5月28日	土	短大 高校生入門講座 コンポーザリングアーティスト[A]	文京キャンパス
6月4日	土	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
6月4日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
6月11日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
6月11日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法/メディアデザイン	川越キャンパス
		短大 高校生入門講座 コンポーザリングアーティスト[A]	文京キャンパス
6月18日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
6月25日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
7月2日	土	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
7月2日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
7月10日	日	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
7月24日	日	ピアノセミナー	文京キャンパス
7月31日	日	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
8月2日	火	夏期受験スキルアップ講習会	文京キャンパス
8月3日	水		文京キャンパス
8月4日	木		文京キャンパス
8月6日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
8月21日	日	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
8月28日	日	大学 オープンキャンパス	川越キャンパス
9月3日	土	声楽セミナー	文京キャンパス
9月3日	土	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
9月10日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法/メディアデザイン	川越キャンパス
9月10日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
9月17日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス

9月24日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
10月1日	土	短大 高校生入門講座 コンポーザリングアーティスト[B]	文京キャンパス
10月8日	土	大学・短大 入試対策	文京キャンパス
10月8日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
10月9日	日	大学 見学会	川越キャンパス
10月23日	日	短大 オープンキャンパス	文京キャンパス
11月5日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法/メディアデザイン	川越キャンパス
		短大 高校生入門講座 コンポーザリングアーティスト[B]	文京キャンパス
11月5日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
11月12日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
11月19日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月3日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
12月3日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
12月10日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス
12月10日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法	文京キャンパス
12月24日	土	冬期受験スキルアップ	文京キャンパス
12月25日	日		文京キャンパス
12月26日	月		文京キャンパス
1月14日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
2月18日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法	文京キャンパス
2月18日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
3月11日	土	大学 キャンパス体験	川越キャンパス
3月11日	土	大学 高校生入門講座 音楽療法/メディアデザイン	川越キャンパス
3月11日	土	短大 社会人説明会	文京キャンパス
3月18日	土	短大 高校生入門講座 コンポーザリングアーティスト[A]	文京キャンパス
3月18日	土	短大 キャンパス体験	文京キャンパス

【フォトギャラリー】



↑ 大学卒業演奏旅行（ハンガリー）



↑ 第194回定期演奏会（オーケストラの部）



↑ 第198回定期演奏会（中・高・二高合唱、合奏の部）



↑ SD 研修



↑ 学生によるボランティアコンサート（於：都立大塚病院）



↑ 川越市と本学との地域連携協議会



↑ふじみ野市と包括連携協定締結



↑2020 東京オリンピック・パラリンピック開催の幟旗掲出

### Ⅲ. 平成 28 年度 決算及び財務の概要

#### 1. 概況

わが国の私立学校を取り巻く状況は、急激な少子高齢化の進行、並びに生産年齢人口の減少、及び経済規模の縮小等により引続き厳しい状況にある。

学園では、財政状況の安定化のために収入の重要な柱である学生生徒納付金の増収を図るため、前年度に引続き学生生徒の確保を最重要課題として取組み、理事長を先頭に教授会をはじめとする様々な会議等において現状を説明するとともに、全学体制での推進について要請等を行っている。しかしながら、平成 28 年度決算の事業活動収支については、人件費と経費の圧縮に努めたものの学生生徒納付金収入等の減少により当年度収支差額は支出超過の状況となっている。

#### 2. 収支計算書（資金収支計算書・事業活動収支計算書）

平成 28 年度資金収支は、財務諸表<第 1 表>のとおり収入総額（前年度繰越支払資金を除く）2,159 百万円、支出総額（次年度繰越支払資金を除く）2,035 百万円で 124 百万円の収入増となっている。

前年度対比で見ると、収入については、学生数の減少等により学生生徒等納付金収入が 61 百万円減少し、金利の低下等により受取利息・配当金収入が 15 百万円減少及び補助金収入も 64 百万円減少している。支出については、管理経費が 85 百万円増加、一方、人件費支出が 68 百万円、教育研究経費支出が 101 百万円、施設関係支出が 95 百万円各々減少している。

平成 28 年度事業活動収支は、財務諸表<第 2 表>のとおり教育活動収支は、教育活動収入計 1,233 百万円、教育活動支出計 1,686 百万円で教育活動収支差額は△452 百万円となっている。教育活動外収支差額は 9 百万円となっており経常収支差額は△444 百万円となった。特別収支差額は 8 百万円、基本金組入前当年度収支差額は△435 百万円、基本金組入額合計は△34 百万円、当年度収支差額は△469 百万円、基本金取崩額が 2 百万円あり翌年度繰越収支差額は△5,113 百万円となった。

前年度対比でみると、経常収支差額は 7 百万円赤字額が減少、基本金組入前当年度収支差額は、109 百万円赤字額が増加した。

#### 3. 貸借対照表

平成 28 年度貸借対照表は、財務諸表<第 3 表>のとおり資産総額 15,238 百万円（前年度比 485 百万円減少）、負債総額 654 百万円（前年度比 50 百万円減少）となっている。

資産総額の減少は、主に減価償却額の計上等により固定資産が 161 百万円減少したこと、及び有価証券の減少等により流動資産が 324 百万円減少したことによる。

負債総額の減少は、借入金返済、退職給与引当金の減少により固定負債が 16 百万円減少したこと及び短期借入金、前受金の減少により流動負債が 34 百万円減少したことによる。



## 4. 対処すべき課題

### (1) 収入増加方策

- ① 学生生徒を確保するため、設置校ごとの入学者数の目標を設定している。目標の達成のため平成 28 年度に広報入試センターの組織を改編、強化した。引続き教職員に対しては学園の現状等について説明し、学生確保の重要性について周知徹底及び協力を要請している。また、卒業生・後援会等にも学生確保の協力要請を行っている。

さらに外部に対して、本学の知名度を高めるとともに、他大学に比しての本学の特色・強み（教育環境・教育方法・教育内容等）をアピールして学生生徒を確保するように努める。そのために、演奏会等を実施するほか、オープンキャンパス、大学説明会、進学ガイダンス、出張授業（演奏）等の活動を積極的に実施する。

なお、短期大学については、本学の特徴（専攻・学費・長期履修制度等）を積極的に活用しながら社会人も含めた学生数の増加に努める。

- ② 大学エクステンションセンター、音楽学校、川越ミュージックセンターについては、地域や一般市民等のニーズに応えながらその活動の幅を広げているが、事業ごとの収支や費用対効果という観点から、さらなる努力と見直し等を進めていく。
- ③ 平成 29 年度から大学は従来コースに加え、新たに「演奏家コース」を「Konzertfach(演奏専攻)」に「教職特設コース」を「教職実践専攻」に改称しそれぞれに相応しい教育課程を実践し、将来海外で活躍できる演奏家及び地域の核となって活躍できる音楽教員の養成に力を入れる。

### (2) 支出抑制方策

支出については、予算編成に際して各部門の予算要求の段階からそれぞれの部局において見直しを求めながら学園全体として支出を抑制する。また、支出に当たっては、支出の要否について精査し支出総額を極力削減する。人件費については、常勤・非常勤及び嘱託・派遣等雇用の在り方についてもより一層効率化を進め支出の削減を図る。

## 資金収支計算書

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減
(収 入 の 部)				
学生生徒等納付金収入	918,327	859,893	798,522	△ 61,371
手数料収入	8,303	8,356	8,222	△ 134
寄付金収入	4,520	5,491	4,496	△ 994
補助金収入	262,425	355,098	291,269	△ 63,828
資産売却収入	201,911	400,034	400,276	242
付随事業・収益事業収入	63,832	63,112	62,626	△ 485
受取利息・配当金収入	34,151	24,367	8,789	△ 15,578
雑収入	28,499	65,834	76,738	10,903
借入金等収入	200	0	0	0
前受金収入	201,652	191,432	163,571	△ 27,861
その他の収入	327,697	334,005	603,071	269,065
資金収入調整勘定	△ 220,877	△ 320,200	△ 258,080	62,120
前年度繰越支払資金	1,681,689	1,256,168	1,138,746	△ 117,422
<b>収入の部合計</b>	<b>3,512,333</b>	<b>3,243,595</b>	<b>3,298,251</b>	<b>54,655</b>
(支 出 の 部)				
人件費支出	954,423	982,399	914,882	△ 67,516
教育研究経費支出	363,855	416,772	315,808	△ 100,963
管理経費支出	247,457	172,156	257,278	85,122
借入金等利息支出	1,047	608	206	△ 402
借入金等返済支出	27,254	26,654	19,344	△ 7,310
施設関係支出	3,152	131,626	36,797	△ 94,828
設備関係支出	63,039	15,382	16,267	884
資産運用支出	332,533	130,771	228,468	97,696
その他の支出	322,034	323,975	343,503	19,527
資金支出調整勘定	△ 58,632	△ 95,497	△ 97,241	△ 1,743
翌年度繰越支払資金	1,256,168	1,138,746	1,262,934	124,188
<b>支出の部合計</b>	<b>3,512,333</b>	<b>3,243,595</b>	<b>3,298,251</b>	<b>54,655</b>

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

## 事業活動収支計算書

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減
<b>教育活動収支</b>				
(事業活動収入の部)				
学生生徒等納付金	918,327	859,893	798,522	△ 61,371
手数料	8,303	8,356	8,222	△ 134
寄付金	0	1,276	1,626	350
経常費等補助金	259,190	297,190	284,852	△ 12,337
付随事業収入	63,832	63,112	62,626	△ 485
雑収入	30,615	65,057	77,389	12,331
教育活動収入計	1,280,269	1,294,887	1,233,240	△ 61,646
(事業活動支出の部)				
人件費	913,400	956,055	905,350	△ 50,705
教育研究経費	576,238	605,239	492,767	△ 112,472
管理経費	268,252	204,557	287,603	83,046
徴収不能額等	5,915	3,599	0	△ 3,599
教育活動支出計	1,763,806	1,769,451	1,685,721	△ 83,730
<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 483,536</b>	<b>△ 474,564</b>	<b>△ 452,480</b>	<b>22,083</b>
<b>教育活動外収支</b>				
(事業活動収入の部)				
受取利息・配当金	34,657	24,578	8,789	△ 15,788
教育活動外収入計	34,657	24,578	8,789	△ 15,788
(事業活動支出の部)				
借入金等利息	1,047	608	206	△ 402
その他の教育活動外支出	0	0	0	0
教育活動外支出計	1,047	608	206	△ 402
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>33,609</b>	<b>23,969</b>	<b>8,582</b>	<b>△ 15,386</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>△ 449,926</b>	<b>△ 450,595</b>	<b>△ 443,898</b>	<b>6,696</b>
<b>特別収支</b>				
(事業活動収入の部)				
資産売却差額	1,702	97,440	0	△ 97,440
その他の特別収入	8,401	63,695	11,857	△ 51,837
特別収入計	10,103	161,135	11,857	△ 149,277
(事業活動支出の部)				
資産処分差額	350	27,619	2,788	△ 24,831
その他の特別支出	0	9,580	580	△ 8,999
特別支出計	350	37,199	3,368	△ 33,830
<b>特別収支差額</b>	<b>9,752</b>	<b>123,935</b>	<b>8,488</b>	<b>△ 115,446</b>
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>△ 440,174</b>	<b>△ 326,659</b>	<b>△ 435,409</b>	<b>△ 108,749</b>
基本金組入額合計	△ 78,368	△ 45,237	△ 33,720	11,516
当年度収支差額	△ 518,542	△ 371,897	△ 469,130	△ 97,233
前年度繰越収支差額	△ 4,021,849	△ 4,540,392	△ 4,645,851	△ 105,459
基本金取崩額	0	266,438	2,000	△ 264,438
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 4,540,392</b>	<b>△ 4,645,851</b>	<b>△ 5,112,981</b>	<b>△ 467,130</b>

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

計算書類<第3表>

## 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位 千円)

科 目	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	増 減
(資 産 の 部)				
固定資産	14,404,960	14,063,390	13,902,439	△ 160,951
有形固定資産	12,577,252	12,475,227	12,323,105	△ 152,121
特定資産	1,048,178	1,017,232	1,012,822	△ 4,410
その他の固定資産	779,529	570,930	566,511	△ 4,419
流動資産	1,692,654	1,660,159	1,335,862	△ 324,296
<b>資産合計</b>	<b>16,097,615</b>	<b>15,723,550</b>	<b>15,238,301</b>	<b>△ 485,248</b>
(負 債 の 部)				
固定負債	359,635	313,947	298,209	△ 15,737
流動負債	391,455	389,738	355,637	△ 34,101
<b>負債合計</b>	<b>751,090</b>	<b>703,685</b>	<b>653,847</b>	<b>△ 49,838</b>
(純 資 産 の 部)				
基本金	19,886,916	19,665,715	19,697,436	31,720
繰越収支差額	△ 4,540,392	△ 4,645,851	△ 5,112,981	△ 467,130
<b>純資産合計</b>	<b>15,346,524</b>	<b>15,019,864</b>	<b>14,584,454</b>	<b>△ 435,409</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,097,615</b>	<b>15,723,550</b>	<b>15,238,301</b>	<b>△ 485,248</b>

※千円未満は切り捨てて表示しております。

平成26年度については改正後の学校法人会計基準にしたがい組替えて表示しております。

財務諸表<第4表> 平成28年度財産目録(平成29年3月31日現在)

(単位 千円)

科 目	摘 要	金 額
<b>固定資産の部</b>	大計	<b>13,902,439</b>
有形固定資産	中計	12,323,106
土地	東京都文京区大塚校地ほか	7,105,979
建物	文京・川越キャンパス建物ほか	4,640,281
構築物	文京・川越キャンパス構築物ほか	116,402
建設仮勘定		69,774
教育用・管理用機器備品ほか		58,734
図書		331,935
特定資産	中計	1,012,822
第2号基本金引当特定資産ほか		1,012,822
その他固定資産	中計	566,511
有価証券ほか		566,511
<b>流動資産の部</b>	大計	<b>1,335,863</b>
現金・預金ほか		1,335,863
<b>資産の部合計</b>		<b>15,238,302</b>

科 目	摘 要	金 額
<b>固定負債</b>	大計	298,210
退職給与引当金		298,210
<b>流動負債</b>	大計	355,637
短期借入金ほか		355,637
<b>負債の部合計</b>		<b>653,847</b>

科 目	摘 要	金 額
<b>正味財産</b>	資産合計－負債合計	<b>14,584,455</b>


※千円未満を四捨五入している為、合計等の数値が計算上一致しない場合があります。




# 監 査 報 告 書

平成29年5月24日

学校法人 三室戸学園  
理 事 会 御中  
評 議 員 会 御中

監 事 井上明俊 

監 事 和田正夫 

私たちは、学校法人三室戸学園(以下「学園」という。)の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて学園の平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書)を含め、学園の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上

## 《財務情報の用語説明》

### 資金収支計算書

教育研究等の諸活動に対して生ずるすべての資金収入及び資金支出の内容を明らかにして、支払資金のてん末を明らかにするものです。

### 事業活動収支計算書

教育活動収支、教育活動外収支及び特別収支の 3 つの活動別の収支ごとに事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにして、かつ年度収支の均衡状態を明らかにするものです。

### 貸借対照表

年度末の資産、負債及び純資産の状態を表すものです。

### 資金収支計算書及び事業活動収支計算書の主な共通科目

#### [学生生徒等納付金収入]

学生生徒等から納入される授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等の収入です。

#### [手数料収入]

入学検定料、試験料や証明書発行に係る手数料収入です。

#### [寄付金収入]

金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入とされないものをいいます。事業活動収支計算書では、施設設備の拡充等に対するものは「施設設備寄付金」として特別収入に計上され、それ以外は教育活動収入に計上されます。

#### [補助金収入]

国または地方公共団体からの助成金をいい、事業団及びこれに準ずる団体からの助成金を含みます。事業活動収支計算書では、施設設備の拡充等に対するものは「施設設備補助金」として特別収入に計上され、それ以外は教育活動収入の「経常費等補助金」に計上されます。

#### [付随事業・収益事業収入]

学校法人の教育研究活動のうち、付随的に生ずる事業収入で、学生生徒等の教育活動の補助的活動収入、外部からの委託を受けて行う受託収入、寄附行為に記載した収益事業からの繰



入収入等が計上されます。

[受取利息・配当金収入]

金融資産の受取利息や配当金です。

[雑収入]

資金収入科目のうち、学生生徒等納付金収入から受取利息配当金までの各科目以外の収入で、施設設備利用料収入、私立大学退職金財団交付金収入等を計上しています。

[人件費]

教職員等に支給する本俸・期末手当・各種手当、退職財団掛金等です。

[教育研究経費]

教育研究活動や学生生徒等の修学支援・課外活動支援に支出する経費です。

[管理経費]

総務・人事・経理業務や学生・生徒募集活動等、教育研究活動以外の活動に支出する経費です。

**資金収支計算書にのみ計上される主な科目**

[資産売却収入]

土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品等の施設設備の固定資産売却及び有価証券の売却に係る収入です。

[前受金収入]

翌年度分の学生生徒等納付金等が当年度に納入されたものです。

[その他の収入]

学生生徒等納付金から前受金収入までの各収入科目に含まれない収入です。前期末未収入金収入、預り金受入収入が主なものです。

[資金調整勘定（資金収入調整勘定・資金支出調整勘定）]

資金収支計算書には、資金収入調整勘定（期末未収入金・前期末前受金）と資金支出調整勘定（期末未払金・前期末前払金）が含まれています。資金収支は、当該年度における支払資金の実際の収支だけで計算したものではありません。前年度以前に収入・支出されたもの

で当年度の活動に属するものと、翌年度以降に収入・支出となるもので当年度の活動に属するものを含めて計算します。すなわち、支払資金の実際の収支と当年度の諸活動に対応する収支とを一致させるための科目が資金調整勘定です。

#### [施設関係支出]

土地・建物・構築物等の取得に係る支出です。建物は、附属する電気・給排水・冷暖房等の施設設備を含みます。

#### [設備関係支出]

教育研究用機器備品・管理用機器備品（本学においては取得価額が10万円以上のものが基準となっている。但し例外あり。）・図書等の取得に係る支出です。

#### [資産運用支出]

有価証券の購入や特定資産として積み立てるための支出です。

#### [その他の支出]

人件費支出から資産運用支出までの各支出科目に含まれない支出です。主なものは預り金支払支出、前期末未払金支出であり、預り金支払支出として給与等に係る源泉所得税等、前期末未払金支払支出として共済掛金・退職金掛金等を計上しています。

### 事業活動収支計算書のみに計上される主な科目・名称

#### [事業活動収入]

事業活動収入とは、教育活動及び教育活動外から得られる経常的な収入とその他の活動から得られる臨時的な収入の合計をいいます。

#### [事業活動支出]

事業活動支出とは、教育活動及び教育活動外から発生する経常的な支出とその他の活動から発生する臨時的な支出の合計をいいます。

#### [教育活動収支]

教育活動収支とは、教育活動に係る収支であり、経常的な収支のうち教育活動外収支以外のものをいいます。具体的には、教育活動収入には、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入などが該当します。教育活動支出には、人件費、教育研究経費、管理経費などが該当します。なお、施設設備の取得に対する補助金・寄付金は、臨時的な収入として下記【特別収支】の特別収入に計上されます。

#### [教育活動外収支]

財務活動等に係る事業活動収入及び事業活動支出の収支をいいます。具体的には、教育活動外収入には、特定資産運用収入、その他の受取利息・配当金などが該当します。教育活動外支出には、借入金等利息などが該当します。

#### [経常収支]

経常収支とは、経常的な事業活動による収支のことで、臨時的な収支である特別収支を除いた教育活動収支及び教育活動外収支の合計をいいます。

#### [特別収支]

特別収支とは、臨時的な事業活動に係る収支で、教育活動収支及び教育活動外収支以外のものをいいます。具体的には、特別収入には、資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額などが該当します。特別支出には、資産処分差額、災害損失、過年度修正額などが該当します。

#### [現物寄付]

金銭ではなく物品による寄付です。資金の移動がないため事業活動収支計算書固有の科目となります。

#### [資産売却差額]

有価証券や教育研究用機器備品などを売却し、その売却収入が帳簿価額を超える場合、その差額を計上したものです。

#### [基本金組入額]

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。そのため学校会計では、当該年度にこれらの取得に充当した金額を基本金に組み入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は「学校法人会計基準」において、次の4つに分類し規定されています。

第1号基本金：設立当初に取得した固定資産並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の増加による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の価額。

第2号基本金：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。

第3号基本金：基金として継続的に保持し、且つ運用する金銭その他の資産の額。

第4号基本金：恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額。

#### [減価償却額]

時間の経過により老朽化することで価値が減少する固定資産について資産としての価値を減少させるために計上する費用です。

#### [資産処分差額]

資産を使用不能等により除却・廃棄した場合、資産の帳簿価額を資産処分差額として計上します。

#### 貸借対照表に計上される主な科目

##### [有形固定資産]

土地、建物、構築物、教育研究用機器備品、図書等の実態のある資産で会計年度末後1年を超えて使用される資産です（耐用年数が1年未満となった使用中の資産も含まれます）。

##### [有価証券]

会計年度末後1年を超えて保有するものはその他の固定資産、一時的な保有のものは流動資産に計上します。

##### [特定資産]

校舎その他施設の増設・改築等将来の特定の支出に備えるために資金を留保するために計上する科目です。

##### [現金預金]

現金・銀行預金・郵便貯金等で、この金額は資金収支計算書の翌年度繰越支払資金と一致します。

##### [借入金]

長期借入金：返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で、「固定負債」に計上されます。

短期借入金：返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で、「流動負債」に計上されます。